

## 天文教育の情報交換サイト-「星空観察ネット勉強会」および「星空観察ネットの広場」の構築

### Developing a web-based network to exchange information of astronomy education: Hosizora Net and Forum of Starry Sky Observing Net

# 三澤 宇希子 [1]; 高田 淑子 [2]; 千島 拓朗 [3]; 伊藤 芳春 [4]; 長島 康雄 [5]

# Ukiko Misawa[1]; Toshiko Takata[2]; Takuro Chishima[3]; Yoshiharu Ito[4]; Yasuo Nagashima[5]

[1] 星空ネット; [2] 宮教大・地学; [3] 宮教大・教・理教; [4] 宮城教員研修センター; [5] 仙台・天文台

[1] Hosizora Net; [2] Geology, Miyagi U. Edu.; [3] Science Education,MUE; [4] Miyagi Pref. Edu. Center; [5] Astro Obs,Sendai

<http://www.hosizora.miyakyo-u.ac.jp/>

#### <はじめに>

現在、理科離れと言われる生徒・児童の関心を引き出しつつ、彼等を自然回帰に繋げる工夫は教育現場で大きな課題となっている。また、IT 機器が学校に急速に導入され、これらを用いた新しい理科教育教材の開発と活用の検討も早急な課題である。このような教育教材の開発過程では、実際に教育現場で数多く試し、利用者の意見を取り入れ利用しやすく教育的価値の高い教材に改善する必要がある。そこで、初等中等学校教員や公共教育施設、教員養成大学等が天文・惑星分野や地球環境分野の実験教育教材を共同で開発してきた。また、個人的に天文教育を進めている人も全国的に数多くいる。そこで、様々な立場の人と教育カリキュラムを共同開発し、教材内容の充実につなげるために、天文教育・星空観察に興味のある人たちの情報交換の場「星空観察ネット勉強会」を組織し、インターネット上に「星空観察ネットの広場」というサイトを構築、開発した教材を広く提供する体制を整えた。

#### <星空観察ネット勉強会>

小・中・高等学校の教員、公共天文台・科学館などの教育機関、天文・地球環境教育等に興味のある人、教員養成大学の学生・教員等約40名が集まり、「星空観察ネット勉強会」と称して、無償グループサイト ([hosizoranet@yahoogroups.jp](mailto:hosizoranet@yahoogroups.jp)) 上で、地学分野、特に、天文・惑星教育、地球環境教育分野の新しい教材開発に関する情報交換を実施している。不定期に勉強会の開催や「インターネット天文台通信」の発行も行い、参加者の活動報告と情報交換に役立てている。このグループサイトでは、今後も広く興味のある方の参加を待望しており、<http://www.hosizora.miyakyo-u.ac.jp/study/index.html> から参加登録が可能である。

#### <星空観察ネットの広場>

インターネットサイト「星空観察ネットの広場」(<http://www.hosizora.miyakyo-u.ac.jp>) では、「教室でできる宇宙の実験教室」として学年・学習単元別あるいは対象項目別に天文・惑星教育教材や地球環境教育教材等を提供している。特に、その教材を用いた授業を「実践授業報告」として閲覧できるようにし、実際の教育現場での活用法を提案している。

2005年度は、中学校の学習カリキュラムに合わせ9月-12月に宮教大インターネット天文台を利用した「金星ライブ」を実施し、授業時間中である昼間にインターネット望遠鏡で金星の生映像を配信し、中学校理科「惑星の公転」に関する授業での活用を図った。さらに、夜空の明るさを測定する「夜空メーター」を用いた星空環境調査の実施方法も掲載し、光害を考える環境教育教材を提供した。

#### <問題点と今後>

教育現場にとって使いやすい情報交換の場とするには、まだ教材や実践報告の蓄積が不足している。現場の意見をより多く取り入れるためにも理科教員へのサイト周知や評価フォーム、実践報告フォーマットなどの設置を検討したい。